

# DECISION

Request No.: 06

## Request for Redress

Event: 燃ゆる感動 かごしま国体セーリング競技会 JAPAN National Sports Festival Sailing Race Number: 1

Hearing Schedule: 2023-10-10 09:00

### PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 06: 420 - 少年男子 - 3218 - 55050 - 森 惟人

Protest Committee

### VALIDITY

**Objection to Jury:** No

**Within Time Limit:** Within Time Limit 要求する根拠を知った後、常識的にできるだけ早く提出した。

**Incident Identified:** Yes

**Proper Hail:** Hail not required

**Red Flag Displayed:** Not required

**Decision:** Request Valid

### PROCEDURAL MATTERS

県番号18は岡田雅樹氏が出席した。

県番号18のオブザーバーとして、監督の埜島風咲氏が出席した。

プロテスト委員会の証人として、富松潔氏が出席した。

### FACTS FOUND

- 少年男子420級第1レースの3レグ、風速は3ノット、波は少しあった。
- 第3マーク付近においてプロテスト委員会は、「ステアリングを伴わない、クルーの身体の動きによる繰り返しのロール」によるRRS42.2(b)違反をした県番号18に、規則P1.2に基づくペナルティーを課した。
- プロテスト委員会は、RRS42.2に基づいてできるだけ早く他艇から十分離れてペナルティーターンを行わなかったとして、第1レースにおいて県番号18をDSQとした。
- レース委員会は、14:36に暫定成績表を掲示した。
- プロテスト委員会は、16:30頃にRRS42違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストの掲示を行った。
- 県番号18はホテルで、記録がDSQになったことを監督から知らされてすぐに、18:54に救済要求を行った。

- プロテスト委員会は、県番号18がマークから50mの距離にあるとき黄色旗を掲揚し、県番号18がマークから30mの距離に至ったときに黄色旗を指し示して音響信号を発し、県番号18を呼びかけた。
- プロテスト委員会は、その後、県番号18を数回呼びかけた。
- 県番号18は、自艇の県番号を呼びかけられたことをゾーン内で初めて認識し、直ぐにスピンドウンをした。このとき周りに他艇があり、県番号18のすぐ後方、外側、内側にも他艇がいた。
- 第3マーク回航中、これらの他艇がいたために、県番号18は、2回転ペナルティーを履行するために他艇から離れることができなかった。
- 県番号18は、第3マーク回航後、すぐにタックをし、2艇身帆走して他艇から離れた後、2回転ペナルティーを履行した。

**Diagram:** No Diagram Needed

### CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

**Rules:** RRS44.2

- 県番号18は、RRS44.2に従って2回転ペナルティーを履行した。
- 県番号18は、自身の過失でなくプロテスト委員会の不適切な処置により得点が悪くなったので、規則62.1に基づく救済の要件を満たす。

### DECISION

Date & Time: 2023-10-10 09:37 JST

県番号18に次の救済を与える：第1レースにおいて県番号18にフィニッシュ順位に基づく得点を与える。

**PROTEST COMMITTEE**

**Committee Type** Protest Committee

**Chaired By:** Kai Masuda (JPN)

**Committee Members:** Masayuki Ishikawa (JPN), Mera Itaru (JPN)